

広報広聴常任委員会

令和8年9月15日（火曜日）

開会 午前11時24分

閉会 午前11時52分

1. 意見交換会について

対象団体別テーマ（案）

（1）森高校

- ・議会ってどんなところ
- ・議員の仕事ってなんだろう
- ・議員に聞いてみたいこと

（2）町内会連合会

- ・町づくりについて
- ・町内会がかかえる問題点
- ・福祉の向上に対する各町内会の要望

（3）警察

- ・警察の視点でみる町の問題点
- ・選挙についての注意事項
- ・青少年の傾向と対策（警察と町ができること）

2. その他

○出席委員（10名）

1 番	伊 藤	昇 君	2 番	河 野	文 彦 君
3 番	高 橋	邦 雄 君	4 番	河 野	淳 君
5 番	山 田	誠 君	6 番	野 口	周 治 君
7 番	斉 藤	優 香 君	8 番	千 葉	圭 一 君
1 2 番	東	隆 一 君	1 3 番	松 田	兼 宗 君

○欠席委員（2名）

9 番	佐々木	修 君	1 0 番	加 藤	進 君
-----	-----	-----	-------	-----	-----

○職務のため出席した者の職氏名

事 務 局 長	関	孝 憲 君
議 事 係 長 兼 庶 務 係 長	長 谷 川	拓 哉 君

開会 午前11時24分

◎開会・開議の宣告

○委員長（斉藤優香君） ただいまの出席委員数は10名です。定足数に達しましたので、広報広聴常任委員会を開会いたします。

ただいまから本日の会議を開きます。

本日の会議の日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎意見交換会について

○委員長（斉藤優香君） まず、意見交換会についてを議題といたします。

別紙のほうを御覧ください。一応前回の広報広聴常任委員会で意見交換会をするということは決まりましたので、その団体名も森高校、町内会連合会、警察ということで今進めております。一応各団体の方とは一度お話をしまして、私たちとしては聞きたいことありますかということをやったかたのすけれども、やはり議題みたいなをつくっていただきたいということで一応案としてここに載せたのすけれども、皆様のご意見言っていたきたいなと思ひまして今回今日の常任委員会開会しましたので、皆様のご意見どうぞよろしくお願いしす。

まず、森高校からいきたいと思ひます。森高校は私が考えるのは議場に来ていただいて、一度先生とお話ししたときには生徒会が一番いいのではないかというお話はいただひました。もう少し煮詰めていかなければならないのすけれども、日時とかも。その中でそのテーマ、何を話し合うかとかというところで皆様のご意見あればお願いします。

○委員（千葉圭一君） テーマの森高の案なのすけれども、議会ってどんなところと議員の仕事ってなんだろうというのは何か1つにまとまりそうな気がするのす。わざわざ別々に話し合うことでもないような気がするのす。それよりは森高生が、生徒会ですか、が考えている森町の今後の在り方というか、まちづくりというか、そういった高校生たちの考え方を私たちが聞くという場もちょっと設けていただきたいなというふうに思うのすけれども、いかがですか。

○委員長（斉藤優香君） それは、高校生が考える森町の将来ということ。

○委員（千葉圭一君） そうそう。

○委員（高橋邦雄君） 森高校なのすけれども、まず開催場所が議場となるとイメージ的には子供議会的な部分の色が濃いのかなということで、この中身の3つの内容を議場でちょっと議員さんと高校生、生徒会執行部になると思うのすけれども、そこの議場のやり取りの中で先ほどもちょっとお話しされた将来の森町がどうなっていくのかという若い子供たちがイメージするまちづくりということで話し合われると思うのすけれども、これ実は10年前ぐらいに森高校と委員会室で議員さん四、五名で、生徒会執行部で、このときのテーマというのが将来の森町というのをテーマでお話合ひさせていただいたことがあるのす。多分その部分が一番濃くなってくるのではないかという。そこであれば議場

で話し合いというのはイメージ的にはいいのですけれども、今この3つの中でやるとなると議場ではどうなのかなという考えがちょっとあります。

○委員（千葉圭一君） 生徒会の人数って何人ですか。というのは、この広報広聴常任委員会のメンバーがこれだけいて、生徒会の人数っていったって会長、副会長、2名に書記長、会計いても……

（「7人ぐらいです」の声あり）

○委員（千葉圭一君） 絶対少ないのですよ、絶対数が。かえって言いづらいというか、双方の意見交換がしづらい場になってしまうような気がするのですけれども、逆に3つの団体があるわけですから、うまく参加できる議員を絞り込んだ人数を、全部が出るのではなくて何人かずつ絞り込んで参加させたらどうかなと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○委員（山田 誠君） 今千葉さん言ったように分ければいいのだ、3つに議員も。分散して、生徒会のほうも分散させて3つで会議させるというほうが生のお話が出てくると思うのだ。みんなでがちゃがちゃやったってこれしようがないから、3種類でやったほうがいいのではないかなと俺は思うのだけれども。

○委員長（斉藤優香君） その場合グループ分けして、グループにもう委ねる。その内容も含めてグループに委ねるという形でいいですか。

○委員（山田 誠君） そうそう、そうそう。

○委員長（斉藤優香君） ここで別に何も決めることなく、ではグループ分けを今しましょうという感じですか。

○委員（山田 誠君） うん、そのほうがいいのではないかな。

○委員長（斉藤優香君） 皆さんはどのようにお考えでしょうか。

○委員（河野文彦君） 今回3団体とというのはどこまで決まっているか分からないですけれども、以前に何か模擬議会みたいな高校生まででやりましたよね。あれ中学生でしたっけ。

（何事か言う者あり）

○委員（河野文彦君） 質問台に立ってもらってやったのあるでしょう。あのとき中学生だったか高校生だったかちょっと忘れてしまったのだけれども、なかなか議員相手にキャッチボールってできないと思うのですよ、高校生でも。なので、本当にもうある程度会話が膨らむようにテーマはやっぱり特に高校生はたくさんつくっておいてやらないと、何かすぐ終わってしまうような気がする。特段高校生の何かを引き出せないまま。だから、特に高校とやるのであればある程度テーマというのはつくってあげないと、何か議論というか意見交換にならないかなと思うので、そこはちょっと気遣ってあげてもいいかなと思います。

あと、これはあくまでも案なのですけれども、町内会連合会に要望って書いているのですけれども、この意見交換会は要望を受ける場ではないでしょう。だから、こういう書き

方はしないほうがいいと思う。相手にも誤解を与えると思うので。

あと、警察との意見交換って何ができるのですか、逆に僕たちが。その辺が分からなかった。

○委員長（斉藤優香君） それ皆さんから出た意見だったので。皆さんが賛成されたのでここに載せただけで、私が決めたわけではなかったというところです。前回のときに意見交換会はどことやりたいですかという中でこの3つが挙がって、皆さんが賛成されたので、一応これを対象団体に挙げています。

○委員（東 隆一君） これ小委員会で決まったやつなの。

○委員長（斉藤優香君） 違います。広報広聴委員会で決まりました。皆さんの場で。

○委員（東 隆一君） 記憶ないな。

○委員（河野 淳君） 私も、今回の団体の相手方の人数が少ないので、多分高校の生徒会は5人か7人だと思うのです。町内会も連合会の役員か町内会長全員って集まったこと多分見たことないので、そんなに人数多くないと思うのです。例えば商工会議所とか、ある程度の人数来て大きな目標でできる団体もあると思うのですけれども、今回のやつは多分河野文彦委員言ったようにある程度アットホームな雰囲気では話したほうが話が膨らみそうな部分なので、例えばその3つを12人いるので、4人とかくらいで仕切ったほうがもしかしたらうまく話がいくと思うのです。多分警察も地域安全課とかのほうかな、所長どうなのですか。

○委員長（斉藤優香君） 来そうですね。人数的には森高、想像だけなのですからけれども、もしかしたら意見交換したい人って言ってもし募集して集まった場合に何十人かとかってなることも考えられるのか、そんなに生徒数自体がないので分からないのですけれども、その辺りもまだ未定なのです。場所とかももしも子供たちが話しやすいのであれば、私たちが高校に行って話しするというのも絶対ありなので、その辺りもこういうテーマを今一応皆さんで決めたほうが、そのグループごとにテーマを決めるべきか、それともまずグループに分かれて行くべきかということと、グループ内だけでテーマを決めるかということをやっと集中してお話合いしていただきたいなと思うのですけれども。

○委員（河野 淳君） はい、分かりました。私の意見としては、取りあえず議員全体ではなくてある程度4人から6人くらいの威圧感与えないような形でやったほうがよりフランクな話っていいですか、今の現状とかを聞き取るのに何かいいのかなと思います。一応テーマは与えておく中で、例えば森高さんですとか町内会連合会についてはフリートークで、あと何かその他でちょっと話す時間とかもらえればある程度話、アイスブレイクではないですが、最初にある程度話題を振っておいて、あと自由課題みたいな感じで言ったほうがもしかしたら話膨らむのかなと思います。でも、あとその団体に属しているパターンとかもあるので、どっちの立場か分からなくなるので、ある程度そのときは外してもらえば相手側のほうの立場で言うことも多分できるので、その辺委員長のほうでグループ分けしてもらったほうが、か希望を募って例えば2か所行きますっていった場合に1人

2か所手挙げしてもらって委員長のほうで調整するとかというのはどうでしょうか。

あと、警察の部分なのですけれども、森町の防犯協会とたしか警察が連携していると思うので、森町の現在の防犯の現状と課題っていいですか、についてであればある程度町民の方も。今これから冬になると空き巣とか増えると思うので、その辺の何か部分とかであれば話膨らむのかなと思います。

○委員（伊藤 昇君） 人数分けするのはいいと思うのです。ただ、1番と2番は私いいと思うのです。ただ、警察だけは来年統一地方選挙、それから森町の議会議員選挙まである。そこで、選挙についての注意事項ってあります。皆さん全員ご存じなのか分からないけれども、公職選挙法ってかなり分からない部分というのはあるのです。微妙な部分が相当ある。その中でやっぱりこういうせっかくの選挙についての注意事項というお題目があるわけですから、これは全員で参加して聞いておかないと自分の身を守ることになりませんので、これはもう全員で参加すべきでないかなと私は思います。

以上です。

○委員長（斉藤優香君） いかがでしょうか。警察のほうなのですけれども、お話を持っていったときにこれからこの意見交換会もありの、その後懇親会みたいなのを開きたいということを警察のほうからお話がありましたので、そちらも含めるとやっぱり一応全員参加を予定したほうがいいのかとは思っているのですが、参加するか、しないかは別なのですけれども、皆さんどうでしょうか。そうすると……

（何事か言う者あり）

○委員長（斉藤優香君） 警察を全員参加とする場合、2つを皆さんで半分に分けていく。そして、今のお話ですと町内会の関係している方は森高に行っていて、その他でちょっと調整していくという形になるかと思うのですけれども、いかがでしょうか。決定でいいですか。反対ないですか。あと、議題もう少しあればいいというお話もあったので、もし考え得るこんなテーマがいいのではないかというのがありましたら挙げていただきたいと思うのですけれども。

（何事か言う者あり）

○委員（河野文彦君） 議題に関しては今挙げろということ、それとも委員長にこういうのいいのではないと随時受け付けるというようなスタンスでいいのですか。

○委員長（斉藤優香君） はい。そうすると私の一存でちょっとこれはなとかってなってしまうかもしれないのですけれども、もし思いついた方いらっしゃいましたら随時受付したいと思います。今すぐ言われても思い浮かばないということもあると思います。これは早めにやってしまいたいなと思ってまして、11月中には全て終わりにしたいと思いますので、結構タイトな日程になるかと思いますが、いかがでしょうか。

○委員（河野文彦君） これ本当の案として3つしか書いていないのですけれども、警察なんて全部刑法犯だけれども、交通行政とかも警察が管理しているわけだから、例えばそういうのもテーマに入れたほうがいいのかと思います。警察というと何か強盗とか傷害とかば

かりなイメージですけれども、警察の業務ってたくさんあるし、町民生活に直接関係してくるというのはもっとたくさんあるかなと思うのです。そういうのをテーマとして。

○委員長（斉藤優香君） 例えば。

○委員（河野文彦君） 例えば今言ったような交通関連とか、森は少ないけれども、風営法だっていろいろあるではない。そこは、偏らないほうがいいかな。

○委員長（斉藤優香君） あとはいかがですか。森高のところもう少しちょっと何かもしあれば。議場というのは難しいかもしれないのですけれども、一度ちょっと議場を見ていただきたいなという思いも……

○委員（山田 誠君） 委員長、逆に森高の生徒に議会と話したいこと何があるか聞いたほうがいいのかと思う。こっちからどうのこうのではなくて。

○委員長（斉藤優香君） 校長先生にお話ししたときに、やはり漠然としているので、ある程度のテーマ出していただけるとというお話もあったので、これをもって高校のほうからテーマをいただいて……

○委員（山田 誠君） そうそうそう、それでいい。

（何事か言う者あり）

○委員（河野 淳君） 議場を見せたいというのはすごく分かるのですけれども、多分議場って相対するので、意見の同調って得られづらいのですよね、対面になるので。だから、例えば忌憚ない意見とかももしやるのであれば口の字型とか、ある程度共感をもらえるような机の形式にしないと、多分言った回数みたいなのになるとなかなか思った発言多分出ないと思うので、例えば森高の会議室ですとかで、あっちの環境で聞いたほうが多分議会が求めている意見とかがもらえそうな気がするのです。どうしても見慣れぬ場所に見慣れぬ人といると話弾まないの、森高でしゃべっていてもなかなか意見言わない子、生徒会だからないとは思いますが……

（「相手のテリトリーのほうが子供たちは安心するのです」の声あり）

○委員（河野 淳君） うん。だから、なるべくその子供たちがリラックスしてしゃべれるような環境をこちらのほうで提供したほうが、その中の話で森高自体で授業の一環として議場を見たいということであれば何か別日で例えば案内するですとか、行政の関係の説明をするとかのほうが多分いいのかなと。最近森高から役場目指す子も少なくなってきたので、その辺PRするには何か絶好の場かなと。

（何事か言う者あり）

○委員（河野 淳君） 高校生役場に入ることほぼないと思うので、別日で森町の役場でどういうところだということを見せる機会は大事かなと思うのですけれども、それとは別に話しする場を設けたほうがいいかなと思うのですけれども。

○委員長（斉藤優香君） 町内会連合会については、役場庁舎の会議室を予定しています。警察のほうは今その後の懇親会もということを勧められましたので、警察のほうから。その会場はまだ未定です。

○委員（東 隆一君） 警察の懇親会って何の意図が……

○委員長（斉藤優香君） 親睦会というか、そういう場があってもいいのではないかと
いう提案がありました。

○委員（東 隆一君） 警察のほうか。

○委員長（斉藤優香君） うん、警察から。

○委員（東 隆一君） こっちが提案したの。

○委員長（斉藤優香君） いいえ、こっちからはしないです。警察が。

○委員（東 隆一君） それどういう感じなのですかって聞かなかったの。どういう意図
なのですかって。

○委員長（斉藤優香君） どういう感じという……

○委員（東 隆一君） うん。だって、警察と懇親会してどういう形なのかなと思ったか
ら今ちょっと聞いてみただけ。

○委員長（斉藤優香君） 暫時休憩します。

休憩 午前 11 時 45 分

再開 午前 11 時 47 分

○委員長（斉藤優香君） 休憩を解きまして再開いたします。

今までの意見をいただいた中で今回決まったことは、まずこの3団体とやるということ。
そして、1番と2番の森高校と町内会連合会は2班に分かれて参加する。町内会の場合は
町内会関係者ではないほうということでグループ分けしたいと思います。森高は森高校を
会場にできないかを打診してみます。町内会のほうは役場の会議室ということと、あと警
察のほうはこれから交渉していきたいと思います。これで依頼文を出しますので、よろし
いでしょうか。大体10月から11月の間に行っていきたいと思いますので、どうぞご協力よ
ろしくをお願いします。

◎その他

○委員長（斉藤優香君） あと、その他になりますけれども、何かある方いますか。

○委員（伊藤 昇君） その他のその他みたくなるのですけれども、ずっと特別委員会3
つありまして、今回議会も終わりましたので、老人福祉施設の特別委員会、シャリテです
よね。これを1回開催していきたいなと思っています。10月1日を、今事務局と話しまし
て、相手のあることですので、シャリテの施設的なものを見れるのであればそちらのほう
に行ってみていきたいなというところも今協議を進めながら、日程は10月1日を押さえて
いきたいなというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。さくら
の園の園長も何かちょっとあんばいが悪かったりしているものですから、その辺りの対応
も含めながら、どうしてもさくらの園を通してシャリテさんにお願ひしなければ駄目だと

ということもありますし、それからそこを見ただけでなくいろいろな皆さんの調査項目があると思いますので、その辺りのところも事務局にあればお知らせをいただきながら、それに対応していきたいなと思っておりました。そういうことでよろしいですか、事務局は。

（「はい」の声あり）

○委員（伊藤 昇君） 以上でございます。

（何事か言う者あり）

○委員（伊藤 昇君） ごめんなさい、何か俺変なこと言った。

○委員長（斉藤優香君） これはシャリテの見学のみ。

○委員（伊藤 昇君） いや、だからもし、さっき後段で言ったのですけれども、何か調査項目があるのであれば事務局のほうにお知らせをいただいて、それでさくらの園園長といろいろ協議をしながら、本人もいたりいなかったり、対応できたりできなかったりするものですから、できるものであればしていきたいなと。ただ、見に行ったらもう半日終わりですよ。だから、1回ではきっとできないのではないかなと。数を重ねていきたいと思っていますので、事務局のほうにこういうものがある、こういうところを見たい、話したい、研究したいというものがあれば出していただきたいなと思っていました。

○委員長（斉藤優香君） 私がいいのですか。

○委員（伊藤 昇君） だって、委員会こっちだから。

○議会事務局長（関 孝憲君） 今の老人福祉施設関係の特別委員会に関してなのですけども、7月30日、8月の頭に私のほうからさくらの園における具体的な実行計画を示してほしいというのがまず1点です。以下の内容を含めるということで、職員の勤務体制、前回の特別委員会の中で答え切れていなかった部分になると思うのですけれども、勤務体制の確保と勤務条件等の進捗状況といったもの、いつ入所者が移動し始めるのか、職員はいつから移動し始めるのかというのが具体的に示されていなかったのも、それも含めてほしいというのを伝えてあります。

もう一つがさわら福祉会における再建計画。議会から資料要求してから作るものではなくて、統合するって決めたからには当然あるものであろうというところでそちらについても要求しているところであります。加えて、特別養護老人ホームのシャリテさわらとさくらの園の現地視察を行いたいというのを8月の頭に申し添えてありますので、取りあえずはこのテーマで開催はできるかなと思うところで、これから午後からになるのですけれども、私のほうで日程調整を行っていく次第であります。

以上となります。

○委員（伊藤 昇君） よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声多数あり）

○委員（伊藤 昇君） その他のほうは私が仕切らせていただきましたので、お返しします。どうぞ。

○委員長（斉藤優香君） あと、その他で何かございますか。

(「なし」の声多数あり)

◎閉会の宣告

○委員長（斉藤優香君） なければ、今日の意見交換会についてを終わります。全て終了しました。

お疲れさまでした。

閉会 午前11時52分